

一般的なデバイスの使用のためにmegaSRのswraidドライバを使用した組み込みSATAコントローラを使用したSuSEのインストール

内容

[概要](#)

[はじめる前に](#)

[手順](#)

[M.2 /Embedded SATA RAIDコントローラおよびLinux搭載M4/M5サーバのCisco UCSリファレンスドキュメント](#)

[B系](#)

[Cシリーズ](#)

[Sシリーズ](#)

概要

M4シリーズまたはM5シリーズラックマウントサーバにインストールしようとする、OSは組み込みRAIDコントローラに問題があり、正しいドライブにインストールできません。

このドキュメントは、SuSEオペレーティングシステム用にロードされている正しいモジュールとドライブの問題の解決に役立ちます。

この手順により、SuSEをインストールする手順が簡略化されました。これにより、SuSEインストールISOを仮想CD/DVDとして、dd.imgドライバファイルを仮想フロッピーディスクまたは仮想リムーバブルディスクとして同時にマッピングできます。インストールウィザードの初期化時に、ディスクが別のディスク/パーティションとして表示され、その後のインストールが必要であることに注意してください。これは、インストーラにlinuxモジュールをロードする方法に起因する混乱を引き起こす可能性があります。この問題を解決するには、このドキュメントの下部にある手順に従って、M.2インストール用のディスク名を保存してください。

著者 : Josh Good;Cisco TACエンジニア。

はじめる前に

このドライバを組み込みコントローラにインストールする前に、OS (pSATAまたはsSATA) をインストールするドライブを制御する組み込みコントローラにRAIDドライブグループを設定する必要があります。

構成ユーティリティにアクセスするには、BIOSセットアップユーティリティを開き、[Advanced]タブに移動し、組み込みコントローラのユーティリティインスタンスを選択します。

pSATAの場合は、LSI Software RAID Configuration Utility(SATA)を選択します

sSATAの場合、[LSI Software RAID Configuration Utility (sSATA)]を選択します

>

手順

LSI MegaSRソフトウェアRAID用SUSE Linux Enterprise Serverドライバのインストール

サポートされている特定のOSバージョンについては、ご使用のサーバーリリースのハードウェアとソフトウェアの互換性マトリクスを参照してください。

この項では、MegaRAIDスタックが組み込まれたシステムへのSLESドライバの新規インストールについて説明します。

Linuxで組み込みRAIDコントローラを使用する場合、pSATA (有効な場合) とsSATAコントローラの注 SW RAIDモードに設定する必要があります。

- ステップ 1 仮想ディスクからインストールするには、Cisco UCS CシリーズドライバのISOをダウンロードし、`dud.img`ファイルを含む`dud.img`ファイルを抽出します。
- ステップ 2 a) ISOイメージをディスクに書き込みます。
b) `drivers`フォルダの内容を参照し、組み込みのMegaRAIDドライバの場所を指定します。/`<OS>/M5/..`
c) 使用しているバージョンのSLESフォルダ内で、`dud-<driver version>.img`ファイルが圧縮`.gz`ファイルです。`.gz`ファイルから`.img`ファイルを抽出します。
d) `dud-<driver version>.img`ファイルをワークステーションの一時的な場所にコピーします。
- ステップ 3 Linuxドライバのインストールを開始します。サーバーのCisco IMCインターフェイスにログインし、仮想KVMコンソールウィンドウを起動し、[仮想メディア]タブをクリックします。
- ステップ 4 a) [イメージの追加]をクリックし、リモートSLESインストールISOファイルを参照して選択します。
注：ISOファイルは、仮想CD/DVDとしてのみマッピングできます。
b) [イメージの追加]を再びクリックし、`dud-<ドライババージョン>.img`ファイルを参照して選択します。
注：IMGファイルは、仮想フロッピーディスクまたは仮想リムーバブルディスクとしてのみマッピングできます。
c) 追加したメディアの[Mapped]列のチェックボックスをオンにし、マッピングが完了するまで待ちます。
- ステップ 5 ターゲットサーバーの電源を再投入します。
- ステップ 6 ブートアップ中にF6プロンプトが表示されたら、F6キーを押します。[Boot Menu]ウィンドウが表示されます。
- ステップ 7 [Boot Manager]ウィンドウで、SLESインストールISOを選択し、Enterキーを押します。SLESのインストールは、イメージがブートされると開始されます。
- ステップ 8 最初のSLES画面が表示されたら、[インストール]を選択します。
- ステップ 9 eキーを押して、インストール・パラメータを編集します。
- ステップ 10 `linuxefi`で始まる行の最後に次のパラメータを追加します。
`brokenmodules=ahci`
- ステップ 11 オプション：インストール中に詳細なステータス情報を表示するには、`linuxefi`で始まる行に次のパラメータを追加します。
`splash=verbose`
Ctrl+xを押してインストールを開始します。
- ステップ 12 インストールが実行されます。インストーラはLSIドライバを提供した`dud-<ドライババージョン>.img`ファイルを参照してください。詳細なステータスメッセージは、インストールが完了するときに表示されます。MegaRAID SW RAIDモジュールが表示されたときにドライバがインストールされていることを確認してください。SLESインストールウィザードに従って、インストールを完了します。[Suggested Partitioning]画面で、[Expert Partitioner]を選択します。
- ステップ 13 a) [Suggested Partitioning]画面で、[Expert Partitioner]を選択します。
b) [Linux] > [ハードディスク]に移動し、LSI - LSI MegaSRドライバ。デバイスがsda以外のタイプとしてリストされている可能性があります。デバイスが表示されない場合、ドライバは正しくインストールされませんでした。この場合は、インストールを確認してください。
- ステップ 14 インストールが完了したら、ターゲットサーバーをリブートします。

M.2 /Embedded SATA RAIDコントローラおよびLinux搭載

M4/M5サーバのCisco UCSリファレンスドキュメント

B系

[B200-m5 \(M.2ストレージ搭載 \)、Linuxをインストール](#)

[B480-m5 \(M.2ストレージ搭載 \)、Linuxをインストール](#)

Cシリーズ

[C220-m4 M.2ストレージインストールLinux](#)

[C220-M5 \(M.2ストレージ搭載 \)、Linuxをインストール](#)

[C240-m4 with M.2 install linux](#)

[C240-m5 with M.2 Storage install linux](#)

[C480-m5- M.2ストレージインストールLinux](#)

[C480-m5-ML with M.2 Storage install linux](#)

sシリーズ

[S3260-M5、m.2/SSD内蔵SATAコントローラ搭載](#)